

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 27 年 5 月 20 日			
氏 名				
所属学部・研究科	生物生産学部食品科学コース 3 年次 (留学開始時点)			
学 生 番 号				
留 学 先 大 学	James Madison University (国名: アメリカ合衆国)			
所属学部・学科等名	なし			
在 籍 身 分	Exchange student			
留 学 期 間	平成 26 年 8 月 16 日～平成 27 年 5 月 6 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: J1			
	ビザ申請先: 大阪アメリカ大使館			
	取得方法, 提出書類: DS-160, パスポート, 証明写真, DS-2019, SEVIS 費用支払い確認書			
	手続きに要した日数: 約3ヶ月			
その他必要な事前手続き	面接予約			
出国年月日	平成 26 年 8 月 16 日			
経 路	広島空港 - 羽田空港 - 成田空港 - ダレス国際空港			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	到着後3日間のオリエンテーション。International student のみのもので、大学内の施設説明、必要書類や手続き方法などを説明してもらえます。また、LINKER という international student の先輩たちが7人グループに1人程度で配属され、生活面での相談に乗ってくれる。			
帰 国 年 月 日	平成 27 年 5 月 10 日			
経 路	ダレス国際空港 - 成田空港 - 広島空港			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	約 100 万	円	
	内訳	渡航費	28 万	円 (支払いは広大)
		保険料	12 万	円
		教科書代(学費)	5 万	円
		宿舍費	40 万	円
		食費	40 万	円 (ミールプラン購入)

--	--

3. 授

2014年

2015年

年

年

授業の概
(カリキ
グラム等
単位互換

学術面に
のアドバ

4. 生

(1) 留

住居の種

住居の広

住居に附
備

住居費

住居を決
法

留学先で
般に關す
イス

(2) 医

1日以上
する病氣

入院した
場合

留学に当
を

括

留学前後
接種の必

有の場合、その種類、回数、費用、受けた医療機関名	ジフテリア、B型肝炎(2回)、髄膜炎(2回)、麻疹・風疹・おたふく(2回)、ツベルクリン検査 留学前にほぼ全て西条の病院で受けたが、B型肝炎の2回目は間に合わなかったのでJMUのHealth Centerで受けた。	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	医療技術のレベルは日本と同じかそれ以上。しかし、保険の有無によってかなり治療費が異なった。特に歯科は高額になる場合が多かった。	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	冬の寒さ・乾燥によって風邪を引きやすい。ルームメイトとは全く仕切りのない部屋なのでどちらかが病気になるとう面倒。	
(3) 危険を感じた地域、状況		
夜の学校の敷地外。暴行事件、時に殺人事件が起きていた。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
学外に一人で出歩くと犯罪に巻き込まれる可能性がかなり高いらしいが、学内で過ごす限りは安全だった。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 29年 3月	(当初の卒業予定年月 平成 28年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他(具体的に 卒業論文研究にかける時間を削りたくなかったため)	
現在の状況および今後の予定・進路等	研究室に配属され、卒業研究に取り掛かる。学部卒業後は大学院に進学予定。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	留学前から1年延長させる予定だったので特に工夫はしていない。	
6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等		
書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
米国ビザ申請	http://www.ustraveldocs.com/jp_jp/index.html?firstTime=No	
7. 自由記述(後輩へのアドバイス等)		
JMUは学生への学習の支援が手厚く、勉強面で充実した留学ができると思います。また全米でも有数の美味しさを誇る学食や、美しいキャンパス、キャンパス内でのイベント等、勉強外の楽しみもたくさんあります。私は2セメスターを終えて、JMUへ留学してよかった、と心から感じました。		

注1) 以下のものを添付してください。(様式任意)

学習の概要

私の
交換学生は
私は広島大
で興味があ

初
ケーション
攻の学習に
はほぼ TOE
語的表現に
復習や先生
を受けてい
助かりまし
グループプ
ストを受け
た。難しさ
と同等に扱
になりました

ま
ングセンタ
してもらえ
れていて、

春
構成で履修
楽になりま
とができた
という栄養
「実験」も
数で、栄養
かったです
各々が行っ

係があるからこそできるこのスタイルが私はとても好きでした

私は留学が終わる頃になってもアメリカ人の学生と話ししたり、授業中の英語を100%聞き取れるようになれず、今でも英語への苦手意識は消えません。しかし、先にも述べたように授業後の質問や様々なサポート機関を利用することによって同程度に授業を理解できることや課題をこなせることを知り、授業中に復習の内容になった時にはネイティブの学生よりも私の方が理解しているという場面も時々ありました。語学力があるに越したことはない、どんな形であれ努力は無駄では無いのかなと思います。先生が気軽に受け付けてくださいますし、時には進路の相談にもものごころに繋がる留学となりました。

じスピー
ヶ月の留学
べたように
て、他の学
した。実際
方が理解し
ありません
は質問を
てください

生活の概要に関するレポート

JMU には多くの留学生がいる限りでは大学全体で10人程度で機会は他の日本人と会う約束でもしにつける、という意味でとても良い

交換留学生は基本的にキャもそうでした。大学の寮は建物の古寮には共有キッチン、共有シャワールーム、共有洗濯乾燥機といったものが仕切りの無い2人部屋で、3つという構造でした。個室は無いが、ルームメイトや近くの部屋の友寮内のイベントで友達の輪を広げた

寮生はミールプランに加入パス内の食堂で取っていました。無かったです。また、多くの友人がめる良い機会でした。初めのセメタなのでクラブ活動やイベントにはあ一目には余裕ができたので、カルチントに参加したり、週末に友人と芝生がとても綺麗に手入れされています。友人との暖かい晴れた日

留学生に向けたイベントも前の豪華な夕食や、ハロウィンのラ戦、イースターのエッグペインティ知る良い機会でしたし、沢山のひと

約9ヶ月間アメリカで暮らは単語力や文法の理解力だけではなく、それに加えて文化や映画の話は、たとえ単語が分か何を話しているのか分かりません。

くとい
苦勞し
たい訴
メリカ
題があ
うな知

ったものばかりだったので、そのような話題についていくことができず
ました。だからといって海外の映画やテレビを沢山見るべきだ、と言
ではありませんが（実際私は映画をあまり知らなかったお陰で留学中ア
人の友人が沢山映画鑑賞会に誘ってくれるようになりました）、共通の話
ると盛り上がるのは確かですし、幅広い教養を持つという点でそのよ
識も重要なのではないかと思います。

故に大
ことも
思いま
ずにギ

JMU での大学生活は広島大学のものとは違うことだらけでした。それ
変なことも楽しいこともいっぱいだった9ヶ月間でした。失敗して凹む
ありましたが、振り返ってみると、何もなかったよりは良かったかなと
す。これから留学に行かれる方には留学中はとりあえず何でも物怖じせ
ってみることをお勧めしたいです。